

保001		項 目 名		ひきこもり対策支援事業費	
予算書項目		地域生活支援事業費		ページ 27	
年度		R8		所 属 名	
				健康こども部鳥取市保健所 保健医療課	
会計名				事業の概要	
一般会計				【問合せ先】心の健康支援室 0857-22-5616	
款 民生費				【1 2次総の施策体系】2201	
項 社会福祉費				【事業の経過及び背景】	
目 障害者自立支援事業費				ひきこもりの相談件数は年々増加しており、同居家族の高齢化が進む中、当事者の面会に至らないケースも多く、同居家族への支援が急務となっている。このため、平成28年度には障がい福祉課にてひきこもり家族教室を開始し、令和元年度には相談対応及び関係機関との連絡調整を行う専門相談員を設置した。	
(単位:千円)				【事業の目的及び効果】	
補正前額		7,601		ひきこもり状態にある当事者や家族の相談支援に対応するため体制を整備し、孤独感や孤立感の解消を図るとともに、ひきこもりに関する正しい知識・理解の普及を行うことで早期支援につなげる。	
要求額		17		【事業の内容】	
総務部長段階査定額		17		事業実績による令和7年度重層的支援体制整備事業交付金の確定に伴う国への返還金。 ・自立相談支援事業 17千円	
市長段階査定額		17			
区 分		補正額			
財 源 内 訳	国・県支出金	0		分担金 0	
	地方債	0		負担金 0	
	その他	0		使用料 0	
	一般財源	17		手数料 0	
	計	17		財産収入 0	
				寄付金 0	
				繰入金 0	
				諸収入 0	
				その他 0	
備 考 欄					

保002		項 目 名		感染症対策推進事業費	
予算書項目		感染症予防費		ページ 29	
年度		R8		所 属 名	
				健康こども部鳥取市保健所 保健医療課	
会計名				事業の概要	
一般会計				【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-30-8533	
款 衛生費				【1 2次総の施策体系】2202	
項 保健衛生費				【事業の経過及び背景】	
目 予防費				感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等に基づき、感染症発生に備えた危機管理体制の整備、感染症発生動向の調査・検査、感染症患者に対する適切な医療の提供等を行っている。2026年5月17日、世界保健機関（WHO）が、コンゴ民主共和国及びウガンダにおけるエボラ出血熱の流行について、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC：フェイク）」に該当する旨を宣言したため、管内の発生に備える。	
(単位:千円)				【事業の目的及び効果】	
補正前額		19,118		感染症の発生時における危機管理体制を平時から整備するとともに、感染症患者に対する適切な医療の提供を行う。管内でエボラ出血熱を含む一類感染症に感染した疑いのある患者が発生した場合、感染症指定医療機関（厚生病院）への患者の移送や検体搬送に関する手続等を保健所が実施することとなるため、一類感染症に対応する装備品及び医療機器の整備・強化を図る。	
要求額		1,478		【事業の内容】	
総務部長段階査定額		1,478		一類感染症患者を搬送するための装備品・医療機器の購入 ・感染症患者隔離・搬送用バッグ 1個 ・防護服に装着する送排気装置用フィルター 5個 ・患者モニタリング用心電図及びSpO2装置 1個	
市長段階査定額		1,478			
区 分		補正額			
財 源 内 訳	国・県支出金	739		分担金 0	
	地方債	0		負担金 0	
	その他	0		使用料 0	
	一般財源	739		手数料 0	
	計	1,478		財産収入 0	
				寄付金 0	
				繰入金 0	
				諸収入 0	
				その他 0	
備 考 欄					

保003		項 目 名		動物愛護センター機能支援事業費	
予算書項目		動物愛護事業費		ページ	29
年度		R8		所 属 名	
				健康こども部鳥取市保健所 生活安全課	
会計名				事業の概要	
一般会計				【問合せ先】動物愛護係 0857-30-8551	
款 衛生費				【1 2次総の施策体系】2202	
項 保健衛生費				【事業の経過及び背景】	
目 予防費				平成25年9月の改正動愛法では、自治体は引取りを行った犬猫について、返還及び譲渡の努力義務が明記され、さらに令和元年6月の改正動愛法では動物愛護センターの業務が規定された。多くの自治体では動物愛護センター施設を整備し動物愛護行政を推進しているが、本市は動物愛護センター施設を有していない状況である。	
(単位:千円)				【事業の目的及び効果】	
補正前額		6,100		本来市がやるべき動物愛護センター業務のうち不十分な部分について、(公財)動物臨床医学研究所が倉吉市に設置した「人と動物の未来センター“アミティエ”」に委託を行うことにより、犬猫の譲渡促進、殺処分数の削減及び動物愛護思想の普及を図る。	
要求額		602		【事業の内容】	
総務部長段階査定額		602		動物愛護センター(アミティエ)が、荒天時・降雪時における収容動物の運動スペースとして、新館裏通路上に屋根を設置する経費について、鳥取県と協調して支援するための経費。	
市長段階査定額		602			
区 分		補正額			
財 源 内 訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	602			
	計	602			
備 考 欄					